『読むから』レシピの記載項目例

（レシピ作成後に青字は消してください）

「レシピ」とは･･･

「レシピ」とは、授業をデザインする際の注意点を簡潔な言葉でまとめたもののことである。人間相手の教育では「ここに記されたとおりにすれば、誰でも必ずうまくいく」というもの（マニュアル）は示せないが、「こういう点に気をつけて授業をすれば、ある程度うまくいく」というもの（レシピ）は示せる。また、そうでなければ、その実践は一部の教員にだけできる特殊なもので終わってしまい、教育の現場に広がることはないであろう（小山 2024, 180）

小山悟（2024）「日本語CBIの成果検証 ―知識の可搬性に焦点を当てて―」『2024年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp. 180-185.（https://www.nkg.or.jp/event/.assets/2024autumn\_yokou.pdf）

○読んだ人のヒントとなるように、『読むから』を使った実践をレシピに落とし込んでください。

○複数回の実践を一つのレシピにまとめる場合は、各実践に共通する要素を抽出するとレシピが作りやすいです。特別な１回の実践でレシピを作成する場合、その１回の実践がそのままレシピになります。

○以下の項目は一例です。項目を足したり削ったりしてください。形式も自由にアレンジしてください。

○ポイントとなるところや注意が必要なところに、吹き出しやメッセージを加えるとより効果的です。

○実践時の写真などを入れると臨場感が増しますが、写真を使用する場合は映り込んでいる人への許諾など権利処理を済ませた上でご使用ください。

○レシピ作成者を匿名にしたい方は、【レシピ作成者】など、個人の特定につながる項目、情報は記載せずに作成してください。

【レシピの作成者】読解太郎

【レシピのタイトル】栄養たっぷり夏野菜カレー／５分で簡単お手軽カレー／スパイスにこだわった本格カレー／だれでもできる普通のカレー　のような実践の特徴を表すタイトル

【キーワード】短期集中、非漢字圏学習者、口頭能力、アカデミック

【実践機関】大学（国内）／日本語学校／地域日本語教室

【実践の種類】留学生対象の日本語授業／日本人と留学生の共修授業／オンライン授業

【対象者（人数や日本語能力、属性など】交換留学生／地域在住外国人、20名、非漢字圏、B1レベル

【実践の時間数や回数】１回90分で15回／45分２回

【到達目標や目的】

【評価方法】

【進め方】

＜グループの人数とグループ数＞

　・３人を基本とし、４人グループもあり

　・日本人と留学生が混在するように

＜流れ＞

１）プレタスク「話してみよう」

　・スライドに提示してチームで話し合う（10分）

　　・２，３のグループにあてて、発表　･･･

【その他／留意点／ポイント／気づき／Tips】

　・グループは3人ではなく、4人のほうがいいかも。4人の場合、タスク1、タスク2、タスク3の時間をもう少し（2分前後）長くする。

　・活動のやり方に慣れるため、まずは話しやすい「お金」のテーマから始めた。２回目でより抽象的な

　　テーマである「普通」を行った。